



異分野の産学ネットワーク形成のための

学術の社会的連携・協力の推進事業 萌芽グループ

萌芽グループで
異分野の産学ネットワークを
始めてみませんか



メリット 異分野の産学交流を
少人数から始められます

メリット 産学交流のための
交通費や会議費といった
活動資金が支援されます
(上限:年 100 万円・3年)

産学協力事業

日本学術振興会(学振)では昭和8(1933)年から産学協力事業(正式名称:学術の社会的連携・協力の推進事業)の実施を通して、学術の社会的連携・協力を推進しています。

産学協力事業は、産学の新たな価値の芽を育てることができ
るネットワーク形成にご活用いただけます。このネットワーク
は、クローズドに議論や情報交換をする場で、組織や研究分野
の垣根を越えた幅広さが特徴です。

萌芽グループ

産学協力事業には、「産学協力委員会」と「萌芽グループ」の
区分があります。「萌芽グループ」は、これから異分野の産学ネ
ットワークづくりをしようとするグループに最適です。

応募区分	産学協力委員会	萌芽グループ
規 模	10 名以上	3名以上
設定期間	5 年間	最大 3 年間
財 源	法人会員が支払う会費の 85%	学振より年 100 万円を上限として支出
支出可能範囲	会議費、移動交通費などの交流活動費	産学協力委員会の支出可能範囲のほか、 博士後期課程学生の移動交通費、保険料

※上記は昨年度の公募要件です。

独立行政法人 日本学術振興会

研究事業部 研究事業課 産学協力係
〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1
麹町ビジネスセンター7 階

☎03-3263-1728 ✉sangaku@jsps.go.jp
メール送付の際は「*」を「@」に置き換えてください。



日本学術振興会